

東京港における植物の輸入状況（令和 4 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、令和 4 年も 25 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

令和 4 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 187.7 万ト（前年比 103.5%）と 4 年ぶりに増加となった。輸入植物の生産国は 102 の国と地域に及び重量ベースで見ると、全体では米国が第一位で 4 割以上を占めている。

栽植用植物：前年比 125.4%と増加した。草花類など 4 カ国から輸入された。主な品目は、中国産ヒカゲノカズラ属苗 1,698 千個（同 113.2%）、ベトナム産などファレノプシス属苗 1,030 千個（同 149.7%）が定期的に輸入された。

栽植用球根：前年比 98.2%と減少した。主な品目は、ユリ 1,759 万球（同 95.3%）、スイセン 50 万球（同 100.0%）、アマリリス 8 万球（同 90.2%）であった。5 カ国から輸入され、オランダ産が約 7 割以上を占めている。

栽植用種子：前年比 116.0%と増加した。主な品目は飼料・緑肥作物、野菜などで 29 カ国から輸入され、6 割以上が米国産である。全体の 5 割以上を飼料・緑肥作物が占め、1,480 ト（同 130.2%）と増加した。

切花、切葉、切枝：前年比 108.7%と増加した。キク 12,688 万本（同 123.7%）、カーネーション 3,624 万本（同 108.6%）、ヒサカキ 9,955 万本（同 100.2%）など、多種類の切花、切葉類が 7 カ国から輸入された。全体の約 6 割を占める中国産は 19,465 万本（同 103.9%）と増加した。

果実：前年比 94.5%と減少した。37 カ国から輸入され、コンテナ本数 5,761 本（対前年-881 本）と減少した。全体の 6 割以上を占めるバナナは 252,011 ト（同 97.6%）と減少し、中でも専用船積フィリピン産は 237,112 ト（同 98.4%）と減少であった。次いでキウイフルーツは 42,416 ト（同 111.7%）と増加し、主要産地のニュージーランド産が 41,041 ト（同 112.6%）と増加した。パインアップ

ル 40,439 ト（同 93.1%）と減少し、中でもフィリピン産は 30,694 ト（同 91.7%）と減少した。柑橘類のグレープフルーツ 11,149 ト（同 68.6%）、オレンジ 10,235 ト（同 73.3%）、レモン 5,788 ト（同 89.5%）は、例年入港している南アフリカ産、米国産の柑橘専用船の入船が無かったことも影響し全て減少した。

野菜：前年比 106.3%と増加した。32 カ国から輸入され、コンテナ本数 13,211 本（同+444 本）と増加した。8 割以上を占める中国産は 229,945 ト（同 107.1%）、次いでニュージーランド産が 18,563 ト（同 120.7%）と増加し、米国産は 4,068 ト（同 57.1%）と減少した。主要品目の 4 割以上を占めるタマネギは 129,615 ト（同 120.1%）、凍結野菜 35,435 ト（同 102.6%）と増加し、次いでニンジン 28,545 ト（同 93.5%）と減少し、ナガネギ 22,263 ト（同 104.9%）と増加であった。

穀類：前年比 81.6%と減少した。27 カ国から輸入され、主要品目の専用船積コムギは 93,365 ト（同 64.0%）と減少した。モルトは 94,398 ト（同 120.6%）、コンテナ本数 4,494 本（同+912 本）と増加した。

豆類：前年比 153.6%と増加した。25 カ国から輸入され、9 割以上がダイズで 7 カ国から 195,157 ト（同 151.3%）、コンテナ本数 9,764 本（同+3,321 本）と増加した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 112.7%と増加した。86 カ国から輸入され、アーモンド 22,386 ト（同 107.2%）、タバコ 14,169 ト（同 135.9%）と増加した。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 105.9%と増加した。43 カ国から輸入され、乾燥牧草が 524,654 ト（同 104.8%）と増加した。主要産地別コンテナ本数は米国 18,700 本（同+888 本）、カナダ 3,754 本（同+164 本）であった。

木材：前年比 160.4%と増加した。米国、カナダ、ドイツの 3 カ国から 547m³輸入された。

（業務グループ 青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物	栽植用球根	栽植用種子	切花切葉切枝	果実	野菜	穀類	豆類	嗜好香辛料・他辛染食料品	油料・肥料・他飼料雑品	木材	* 合計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m ³)	(千トン)
令和4年	3,077	19,893	2.9	344,372	397	270	222	212	71	702	547	1,877
令和3年	2,454	20,257	2.5	316,836	420	254	272	138	63	663	341	1,813
令4/令3年比(%)	125.4%	98.2%	116.0%	108.7%	94.5%	106.3%	81.6%	153.6%	112.7%	105.9%	160.4%	103.5%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

**モロッコ産マンダリンその他のシトラス・レティクラ
タ及びクレメンティンその他のシトラス・クレメンティ
ナ生果実の条件付き輸入解禁について**

令和 5 年 2 月 24 日付でモロッコ産マンダリンその他のシトラス・レティクラタ（以下マンダリン等）及びクレメンティンその他のシトラス・クレメンティナ（以下クレメンティン等）生果実が条件付きで輸入解禁された。同国はチチュウカイミバエの発生国のため、同生果実は輸入禁止されていた。

主な輸入条件は、次のとおり：

モロッコで生産されたマンダリン等及びクレメンティン等の生果実であって、船積貨物として輸入されたものであること。

○輸出国における検査及び証明

モロッコ植物防疫機関により検査及び発行された植物検疫証明書には、検疫有害動植物が付着していないことを認め、又は信ずる旨の記載と「チチュウカイミバエに侵されていないものであること」と「消毒が行われたものであること」と特記されていること。

○封印

海上輸送中の低温処理コンテナには、各コンテナ毎にモロッコ植物防疫機関による封印がなされていること。

○消毒

モロッコ植物防疫機関により消毒に適切な設備を有するものとして指定された低温処理コンテナにおいて、マンダリン等については、生果実の中心部が摂氏 2.0 度となった後、引き続き 23 日間その温度以下で消毒すること。クレメンティン等については、生果実の中心部が摂氏 2.0 度となった後、引き続き 16 日間その温度以下で消毒すること。

その他輸入条件については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

**ペルー産ぶどう（ウィティス・ウィニフェラに限る。）
生果実の条件付き輸入解禁について**

令和 5 年 3 月 22 日付でペルー産ぶどう（ウィティス・ウィニフェラに限る。）生果実が条件付きで輸入解禁され

た。同国はチチュウカイミバエ及びミナミアメリカミバエの発生国のため、同生果実は輸入禁止されていた。

主な輸入条件は、次のとおり：

ペルーで生産されたぶどう（ウィティス・ウィニフェラに限る。）の生果実であって、船積貨物として輸入されたものであること。

○輸出国における検査及び証明

ペルー植物防疫機関により検査及び発行された植物検疫証明書には、検疫有害動植物が付着していないことを認め、又は信ずる旨の記載と「チチュウカイミバエ及びミナミアメリカミバエに侵されていないものであること」と「消毒が行われたものであること」と特記されていること。

○封印

海上輸送中の低温処理コンテナには、各コンテナ毎にペルー植物防疫機関による封印がなされていること。

○消毒

ペルー植物防疫機関により消毒に適切な設備を有するものとして指定された低温処理コンテナにおいて、生果実の中心部の温度のいずれかとなった後、引き続きそれぞれの期間その温度以下で消毒すること。

生果実の中心部の温度	期 間
摂氏 1.0 度	16 日間
摂氏 2.0 度	18 日間
摂氏 3.0 度	20 日間

その他輸入条件については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

「植検だより」の発行時期についてのお知らせ

本年度より、「植検だより」は季節ごと年 4 回の発行とさせていただきます。発行月は 4 月、7 月、11 月および 1 月の中旬頃を予定しております。

東京植物検疫協会事務局人事

○4 月 1 日付

次長 兼 総務グループ長 佐藤 勉（次長）

業務グループ参与 青島 英夫（総務グループ長）

総務グループ課長 永谷 祐介（総務グループ課長代理）

会 員 ・ 役 員 の 異 動（令和 5 年 2 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

☆入会会員

2 月 6 日 ㈱フルーティーブリッジ・ジャパン [商社] 〒270-2223 千葉県松戸市秋山67-15 ☎047 (392) 1660

3 月 7 日 千 石 商 事 ㈱ [商社] 〒112-0011 文京区千石4-1-17 ☎03 (3320) 8278

3 月 10 日 三 井 物 産 シ ー フ ーズ ㈱ [商社] 〒105-0011 港区芝公園2-4-1 ☎03 (3438) 5975

☆社名変更

2 月 1 日 三 井 物 産 ア グ リ フ ーズ ㈱ ← 東 邦 物 産 ㈱

☆退会会員

3 月 31 日 川崎花卉園芸㈱、㈱グリーンボックス、源清田ファーム㈱、サントリービール㈱、台湾青果㈱、
㈱タム、ラックスコーポレイション、日比貿易㈱、㈱双海通商、山田馬糧㈱、Y u フルーツ㈱

☆交代役員

3 月 1 日 理 事 植 村 和 弘 丸 紅 株 式 会 社 （ 前 任 者 ： 門 築 芳 則 ）

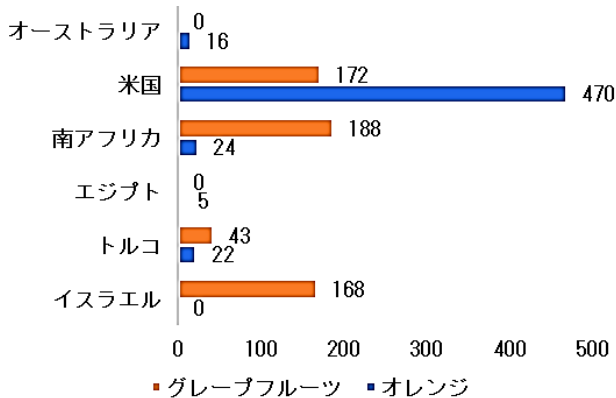
タイム eye

業務グループ 東京港に輸入されているシトラス

東京港には一年を通して世界各国から色々なシトラスが輸入されている。代表的な輸入品目であるオレンジ、グレープフルーツをみても米国、イスラエル、エジプト、オーストラリア、トルコ、南アフリカと様々である。

輸入時期に関しても様々で、北半球の国々から輸入されているものは、12月から4月の下旬までが輸入シーズンとなっており、それが終わると南半球産地からのシーズンとなる。こうして東京港には年間を通じて多くのシトラスが輸入されている。

2022年東京港輸入コンテナ本数



一昔前であれば北半球は米国産、南半球は南アフリカ産と大きな括りでシトラスの輸入を語れたが、現在は日本人の好みの変化や輸出が解禁された国、品種の増加に伴って消費者の選択肢が多くなった。レモンのように食後のデザートとしてよりも酸味を楽しむものは別であるが、オレンジやグレープフルーツの類においては出来るだけ酸味が抑えられ、果汁の多い品種が日本の消費者に好まれるようになった。ミネオラやマンダリン、マーコット、メロゴールド、スィーティーなどの品種は日本人の好みに合った品種として人気となっている。他にシトラス以外の生果実では、キウイフルーツ、パイナップル、ブドウなど、高糖度のものが好まれ、輸入量が増加傾向である。

東京港ではトルコ産シトラスの取り扱いが増えており、令和3年に輸入解禁されたマンダリンとオレンジの交雑種であるタンゴも多く輸入されている。大手スーパーでも見かけたので実際にタンゴを購入して食してみると、皮は薄く、みかんの様に手軽に剥く事ができた。食味はみかんの味というよりはオレンジの味に近く、爽やかであった。また、令和5年2月24日施行でモロッコ産マンダリンその他のシトラス・レディクラタ及びクレメンティンその他のシトラス・クレメンティナの生果実が輸入解禁されたことから消費者にとっては新たな選択肢が増えることになった。世界各国のシトラスを手にとって試してもらいたい。(業務グループ 萩原 貴史)

業務グループ ベトナム産リュウガン初輸入

令和5年2月20日ベトナム産のリュウガンが東京港に初輸入され、検査結果は合格となった。

ベトナムはミカンコミバエ種群の発生源のため、これまで同害虫の寄主植物であるリュウガン生果実の輸入は禁止されていたが、令和4年11月18日に低温処理施設又は低温処理コンテナでの適切な処理を条件に輸入解禁された。低温処理施設又は低温処理コンテナにおいて、生果実の中心部が摂氏1.3℃になった後、引き続き13日間その温度以下で消毒が条件となる。また、ミカンコミバエ種群が侵入するおそれがないと認められるこん包での輸入が必要になる。



東京港でのベトナム産生果実輸入量は2022年の検査件数891件7,623トと数年前に比べ同国産のマンゴウ、ドラゴンフルーツ、バナナなどの取り扱いが増えており、量販店でも見かけるようになった。

ベトナムでは、リュウガン生産量は約60万トンを誇り、トップ5に入る生果実である。主な生産地は北部のハノイ、ハイフォン、バクニン省、ハイズオン省、南部ではタイニン省、ビンズオン省、ドンナイ省、ロンアン省などで栽培されている。今回輸入されたものは南部で栽培されたものであり、北部も併せて一年を通して輸入予定とのことである。リュウガンは主に家内労働的な小規模農家で栽培されていたが、近年は需要の増加、栽培技術の進歩により大規模農園での栽培も増加している。

リュウガンはムクロジ科植物である。同科別属のライチに比べて皮の凹凸感が少なく小ぶりな見た目で、果肉はライチに似ていて多汁で糖度が高い。手で簡単に剥くことができ、手軽に食べることができる。また、ブドウ糖、ビタミンC、ビタミンB1、ビタミンB2を多く含んでおり動脈硬化や高血圧、便秘や貧血の改善、疲労回復などに効果がある。

同国産生果実は、一年を通じてドラゴンフルーツ、マンゴウ、バナナなど、スーパーでも気軽に購入できるようになった。リュウガンを見かけた際は、是非購入して味わってほしい。

(業務グループ 有働 昌平)

東京港輸入植物品目別統計表

(令和4年度累計)

品 目	単 位	コンテナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	69	3,064,145	19,189	0	0	3,064,145	19,189
栽植用球根類	個	105	20,164,300	0	0	0	20,164,300	0
アマリリス	”	10	91,596	0	0	0	91,596	0
チューリップ	”	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	”	89	17,438,725	0	0	0	17,438,725	0
栽植用種子	kg	312	3,303,407	33,561	0	0	3,303,407	33,561
草花・樹木	”	2	16,274	0	0	0	16,274	0
野菜	”	151	656,175	85	0	0	656,175	85
普通・特用作物	”	58	919,217	0	0	0	919,217	0
牧草・芝草	”	86	1,536,812	27,636	0	0	1,536,812	27,636
切花、切葉、切枝	個	2,380	349,138,140	5,032,502	0	0	349,138,140	5,032,502
アンズリューム	”	1	111,656	0	0	0	111,656	0
オンシジューム	”	172	7,369,654	340,685	0	0	7,369,654	340,685
キク	”	1,291	130,960,480	0	0	0	130,960,480	0
シダ(レザーフアン)	”	130	20,096,800	427,000	0	0	20,096,800	427,000
果 実	kg	5,860	97,261,783	5,859,305	302,725,490	197,545,215	399,987,273	203,404,520
オレンジ	”	572	9,892,907	57,638	0	0	9,892,907	57,638
グレープフルーツ	”	532	10,179,316	435,364	0	0	10,179,316	435,364
タンジェロ(ミネオラ)	”	112	2,552,288	0	0	0	2,552,288	0
レモン	”	426	7,711,479	0	0	0	7,711,479	0
パインアップル	”	829	13,453,764	3,412,228	25,936,808	21,197,791	39,390,572	24,610,019
バナナ	”	968	14,935,599	1,772,131	240,292,142	176,347,424	255,227,741	178,119,555
マンゴウ	”	41	167,928	2,510	0	0	167,928	2,510
キーウイフルーツ	”	199	3,422,204	0	36,496,540	0	39,918,744	0
ブドウ	”	271	3,827,800	57,637	0	0	3,827,800	57,637
野 菜	kg	12,821	260,554,815	817,843	27	0	260,554,842	817,843
カボチャ	”	360	8,696,620	709,550	0	0	8,696,620	709,550
サヤエンドウ(キヌサヤ)	”	10	140,798	0	0	0	140,798	0
パプリカ	”	38	384,430	0	0	0	384,430	0
メロン(ハミウリ含む)	”	37	634,678	0	0	0	634,678	0
キャベツ	”	102	3,237,734	0	0	0	3,237,734	0
セロリ	”	9	156,713	9,812	0	0	156,713	9,812
ナガネギ	”	1,581	22,948,353	0	0	0	22,948,353	0
ニンニクの芽	”	17	1,289,081	15,686	0	0	1,289,081	15,686
ハクサイ	”	0	9,000	0	0	0	9,000	0
ブロッコリー	”	117	1,244,292	50,220	0	0	1,244,292	50,220
レタス	”	267	3,092,186	10,400	0	0	3,092,186	10,400
タマネギ	”	4,914	120,765,436	0	0	0	120,765,436	0
ニンニク	”	692	12,544,802	0	0	0	12,544,802	0
アスパラガス	”	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	”	263	7,177,760	0	0	0	7,177,760	0
サトイモ	”	36	798,000	0	0	0	798,000	0
ショウガ	”	386	8,629,201	0	0	0	8,629,201	0
ニンジン	”	1,219	30,229,990	0	0	0	30,229,990	0
こく類	kg	6,531	134,207,411	794,035	113,068,941	0	247,276,352	794,035
オオムギ	”	5	67,679	0	0	0	67,679	0
エンバク	”	212	4,566,099	0	0	0	4,566,099	0
コムギ	”	208	4,191,891	0	113,068,941	0	117,260,832	0
コメ	”	676	12,495,171	0	0	0	12,495,171	0
ソバ	”	311	6,186,531	0	0	0	6,186,531	0
トウモロコシ	”	327	5,989,269	0	0	0	5,989,269	0
モルト	”	4,713	99,233,129	794,035	0	0	99,233,129	794,035
まめ類	kg	11,462	229,229,086	3,870,404	0	0	229,229,086	3,870,404
エンドウ	”	48	1,013,634	0	0	0	1,013,634	0
ダイズ	”	10,566	211,785,459	3,470,404	0	0	211,785,459	3,470,404
ラッカセイ	”	514	10,477,047	400,000	0	0	10,477,047	400,000
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	4,548	69,183,675	2,470	0	0	69,183,675	2,470
カカオ	”	14	46,559	960	0	0	46,559	960
コーヒー	”	83	760,469	0	0	0	760,469	0
タバコ	”	764	13,736,990	0	0	0	13,736,990	0
アーモンド	”	1,195	20,613,858	0	0	0	20,613,858	0
クリ	”	22	336,384	0	0	0	336,384	0
クルミ	”	491	8,487,671	0	0	0	8,487,671	0
ポップコーン	”	450	9,197,107	0	0	0	9,197,107	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	29,077	656,868,877	1,550,938	0	0	656,868,877	1,550,938
乾燥牧草(ヘイ)	”	21,020	488,748,921	67,559	0	0	488,748,921	67,559
アニマルフィード	”	24	249,819	0	0	0	249,819	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	”	1,635	40,988,991	0	0	0	40,988,991	0
コーンコブミール	”	26	512,216	0	0	0	512,216	0
飼料用大豆カス、ペレット	”	541	12,860,985	0	0	0	12,860,985	0
ビートパルプペレット	”	748	17,923,185	1,482,960	0	0	17,923,185	1,482,960
イネワラ	”	197	3,083,112	11	0	0	3,083,112	11
ココピート	”	752	14,661,205	0	0	0	14,661,205	0
ココヤシ園芸資材	”	193	4,192,910	0	0	0	4,192,910	0
ビートモス	”	1,771	39,285,127	0	0	0	39,285,127	0
ミズゴケ	”	39	75,320	0	0	0	75,320	0
タケ	”	85	1,136,451	0	0	0	1,136,451	0
木 材	m ³	20	553	10	0	0	553	10
** 総 合 計 **	kg 個 m ³	70,611 2,554 20	1,450,609,054 372,366,585 553	12,928,556 5,051,691 10	415,794,458 0 0	197,545,215 0 0	1,866,403,512 372,366,585 553	210,473,771 5,051,691 10

(注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。